

39期(2020年10月期)業績、 40期計画、及び今後の取組み

～ 景気変動、自然災害、そしてウィルスにも強い会社へ ～

2021年1月20日

株式会社システムディ

代表取締役会長 堂山 道生

代表取締役社長 藤田 雅己



システムディ会社説明会
於：兜町平和ビル

(2020年10月31日現在)

社名	株式会社 システムディ		
代表者	代表取締役会長 堂山 道生	代表取締役社長 藤田 雅己	
創業	1984年8月14日	上場日	2006年4月27日
資本金	4億8426万円		
役員・従業員数	241名（内シンク9名、システムディ北海道2名）		
事業内容	特定業種向けのパッケージソフトの開発・販売、クラウドサービスの提供		
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、滋賀銀行、京都銀行		
発行済株式数	6,498,000株		
株主数	2,395名		
資格	ISMS認証（ISO 27001）、プライバシーマーク付与認定		
所在地	本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る 東京支社 : 〒105-0012 港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル6F		
主要顧客	NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通-富士電機、パナソニック、日本事務器、大塚商会、京セラコミュニケーションシステム、大学、フィットネスクラブ、自治体、民間企業 他		
主要仕入先	マイクロソフト、富士通、NEC、ソフトバンク 他		

2020年10月期 決算概要

< 増収増益、コロナに負けず過去最高の業績を計上 >

売上高 **3,854** 百万円 予算比 **+132** 百万円 前年比 **+288** 百万円

経常利益 **729** 百万円 予算比 **+123** 百万円 前年比 **+191** 百万円

高効率ビジネスのさらなる進展、クラウド伸張・ストック収益好調により、業績は売上・利益ともに、当初予算・前年実績を大幅に上回った。

下半期にコロナ禍の影響を受けつつも、経常利益は、弊社過去最高であった前期の業績を上回る **729** 百万円を計上。

当初計画比

(単位：百万円)

	2020年10月期 当初計画値	2020年10月期実績		
		実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	3,722	3,854	132	103.5%
売上総利益	1,755	1,758	3	100.2%
営業利益	607	727	119	119.8%
経常利益	606	729	122	120.3%
当期純利益	418	510	92	122.0%

前年同期比

(単位：百万円)

	2019年10月期 実績	2020年10月期実績		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	3,566	3,854	288	108.1%
売上総利益	1,618	1,758	140	108.7%
営業利益	535	727	192	135.9%
経常利益	538	729	191	135.5%
当期純利益	382	510	128	133.5%

貸借対照表

JASDAQ
3804



総資産 4,576 百万円 (前期 4,124 百万円)

純資産 2,982 百万円 (前期 2,539 百万円)

自己資本比率 65.2 % (前期 61.6 %)

**自己資本比率が大幅に強化
長期戦略に基づく投資計画が
実行可能。**

連結会計年度 (2020年10月31日)

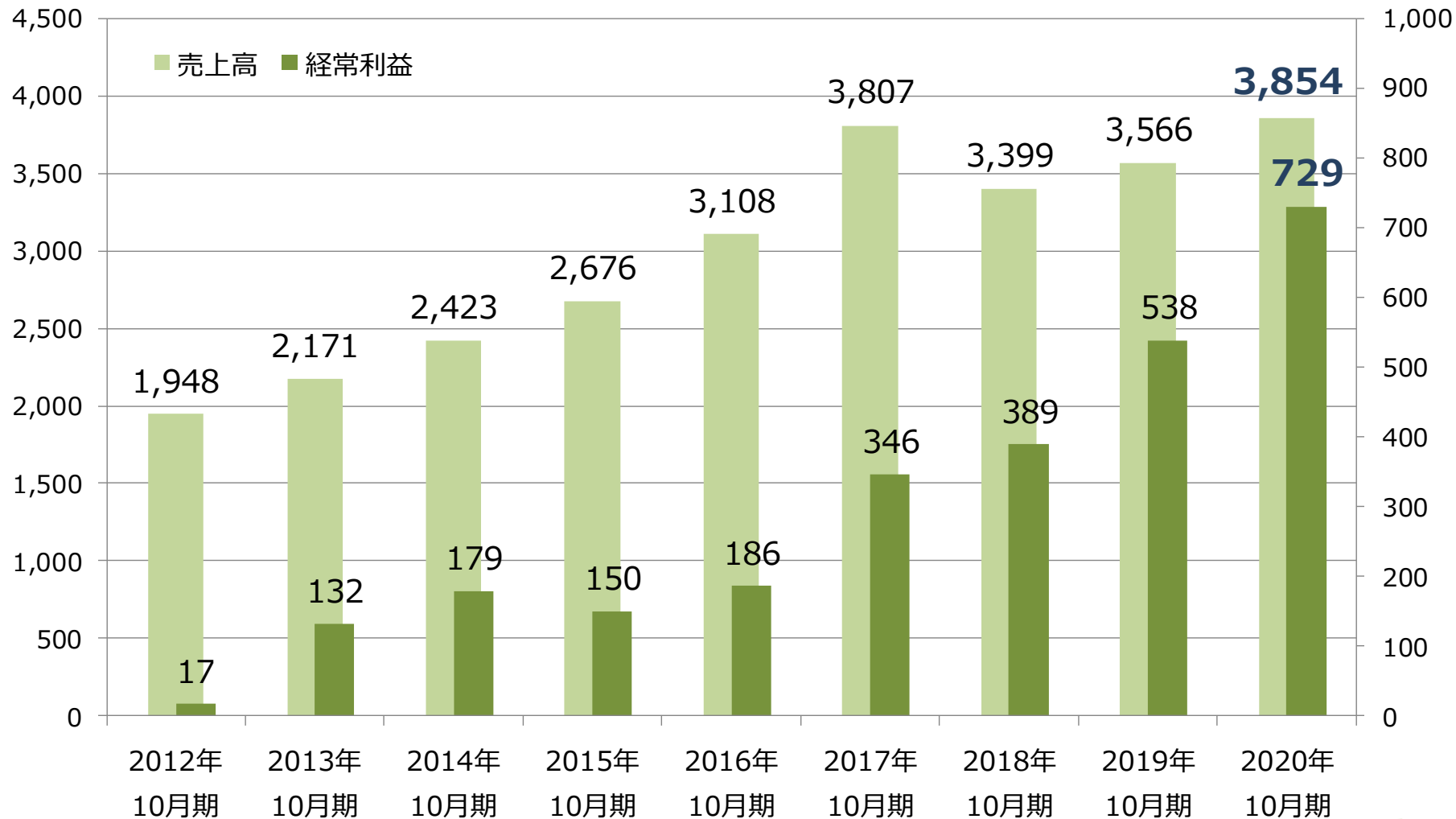
借方	貸方
流動資産 1,910 百万円 (前期末比 227百万円増)	流動負債 1,235 百万円 (前期末比 103百万円増)
固定資産 2,665 百万円 (前期末比 224百万円増)	固定負債 357 百万円 (前期末比 95百万円減)
	純資産 2,982 百万円 (前期末比 443百万円増)
資産合計 4,576 百万円	負債純資産合計 4,576 百万円

売上高・経常利益の推移

JASDAQ
3804



(単位：百万円)



■ 収益性・安定性に関する指標の推移

JASDAQ
3804

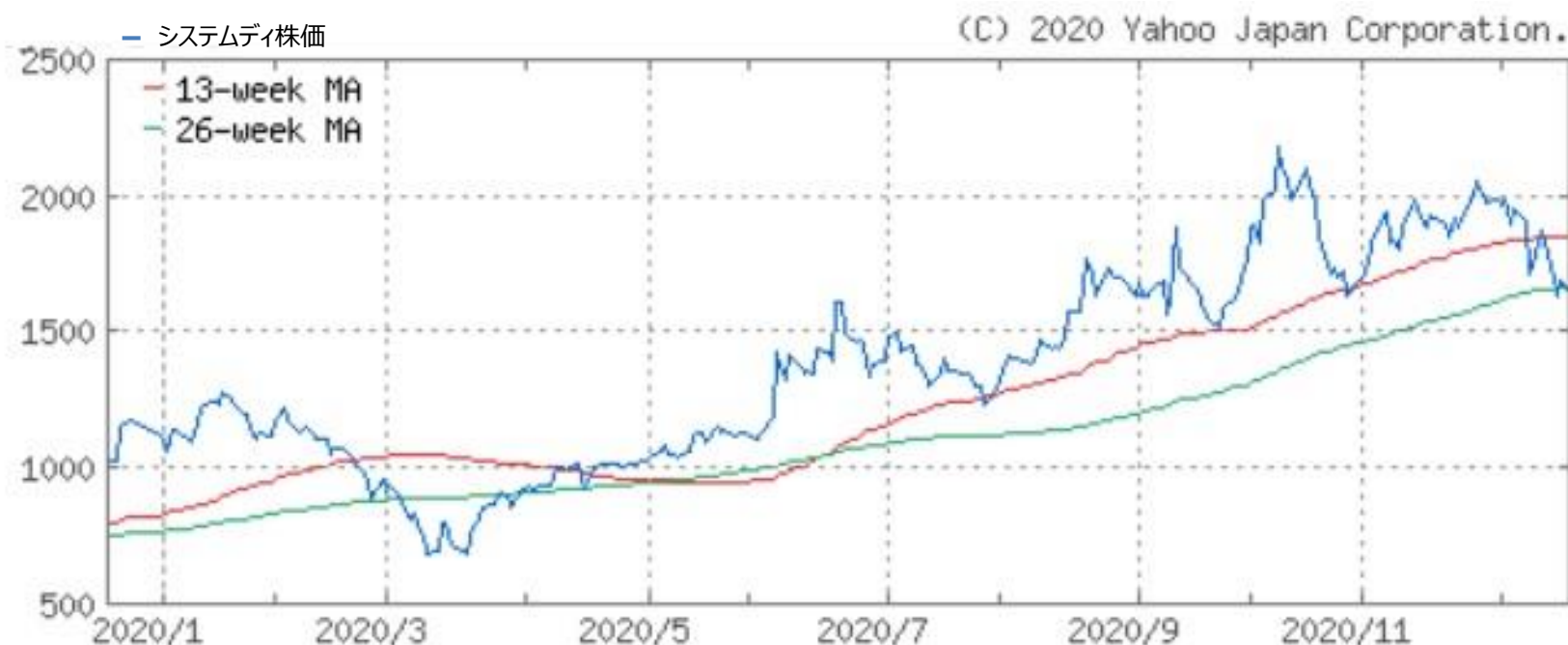


	2013年 10月期	2014年 10月期	2015年 10月期	2016年 10月期	2017年 10月期	2018年 10月期	2019年 10月期	2020年10月期 実績
1株当たり 当期純利益 (EPS)	20.3円 (40.7円)	28.5円 (57.0円)	22.4円 (44.8円)	20.6円 (41.3円)	36.7円 (73.5円)	39.8円 (79.6円)	59.0円 (118.0円)	78.7円
自己資本 当期純利益率 (ROE)	10.5%	13.1%	9.3%	7.9%	12.8%	12.4%	16.2%	18.5%
総資産経常利益率 (ROA)	4.8%	5.8%	4.4%	5.0%	9.3%	10.3%	13.5%	16.8%
売上高営業利益率	6.5%	7.8%	5.9%	6.2%	9.2%	11.5%	15.0%	18.9%
自己資本比率	43.7%	47.5%	45.2%	46.4%	54.1%	56.9%	61.6%	65.2%
1株当たり純資産 (BPS)	203.4円 (406.9円)	230.5円 (461.0円)	251.3円 (502.6円)	270.1円 (540.3円)	304.7円 (609.5円)	339.1円 (678.2円)	391.1円 (782.2円)	459.4円

※カッコ内の数字は、株式分割前の値です。

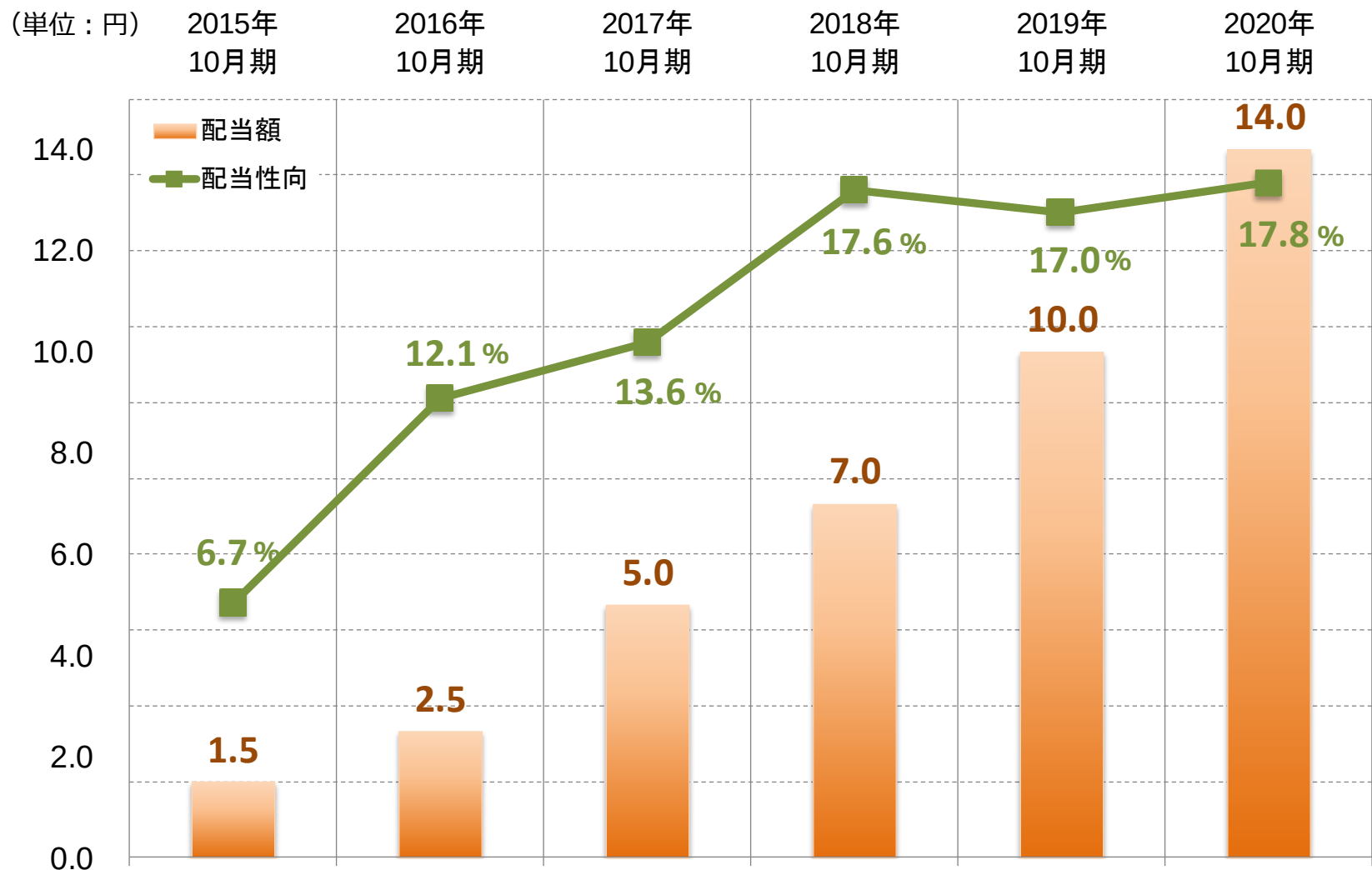
- 2018年末からの株安の影響を受けておりましたが、2019年6月以降、業績伸長に連動して概ね右肩上がりで推移し、2020年8月後半以降は1,500円を超える株価で推移しています。

※当社株式流動性の向上と投資家層の拡大を図るため、当社普通株式を2018年5月1日に1株につき2株の割合をもって分割いたしました。



■ 配当額・配当性向の推移

JASDAQ
3804



■ 将来的な開発投資等に備えて内部留保しつつ、安定的な配当を維持しております。

※ 2018年5月に1：2の株式分割を実施しており、配当額は遡って修正しています。

システムディのパッケージビジネス

パッケージソフトによるトータルソリューションの提供

**完全注文生産
(オーダーメイド)**

注文生産より圧倒的にコストが小さく、
市販パッケージソフトよりも格段に
柔軟性が高い。
定期的なバージョンアップにより、常に
時代を先取りしたシステムを開発し、
最新・最善のソリューションを提供。

**市販の
パッケージソフト
(レディメイド)**

イージーオーダー型 自社開発パッケージソリューション

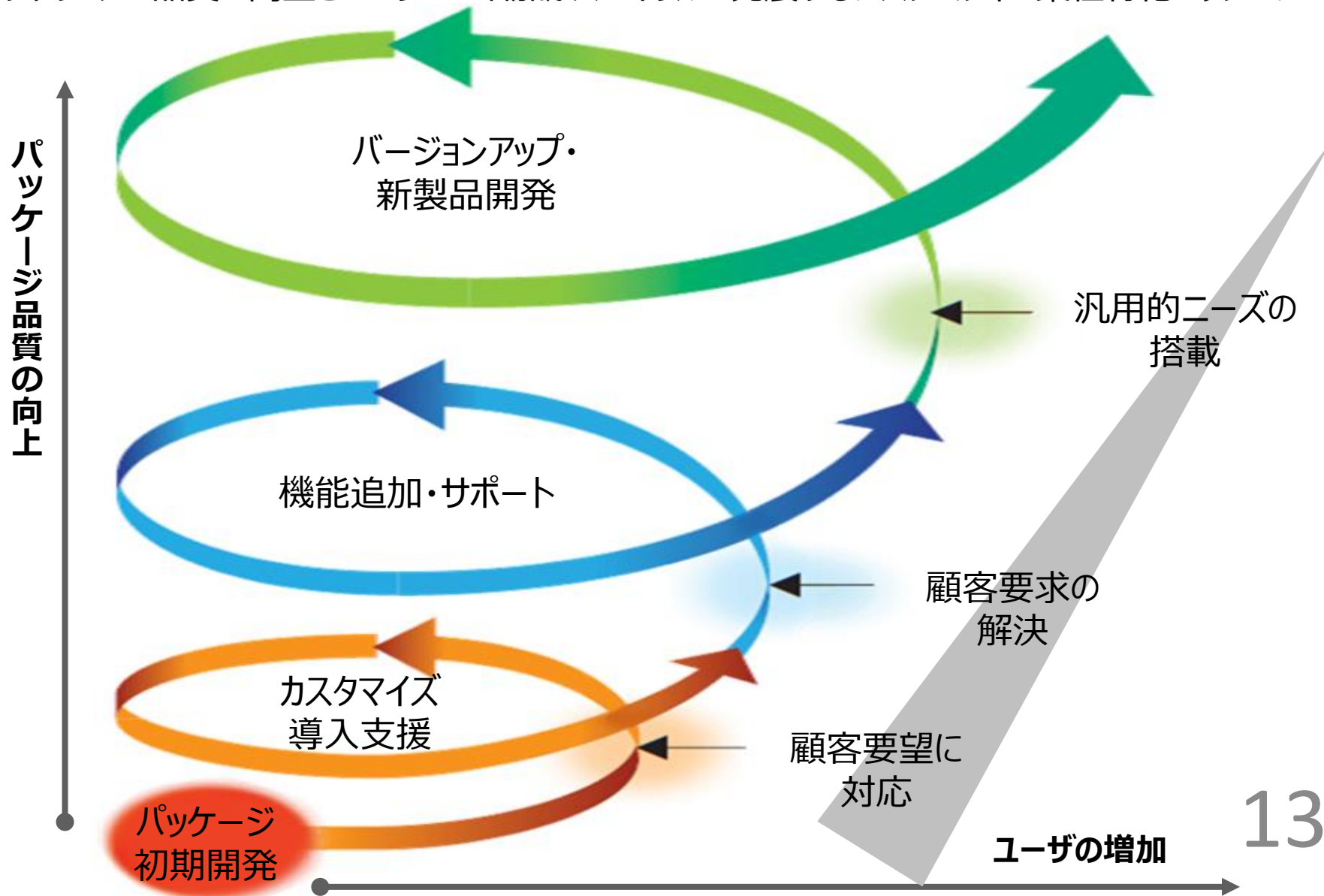
自社開発のパッケージソフトをベースに、顧客の業務上の
課題を解決し、要求をカスタマイズして、
提案から導入・保守まで総合的にサポートするサービス

■ システムディのパッケージは進化する

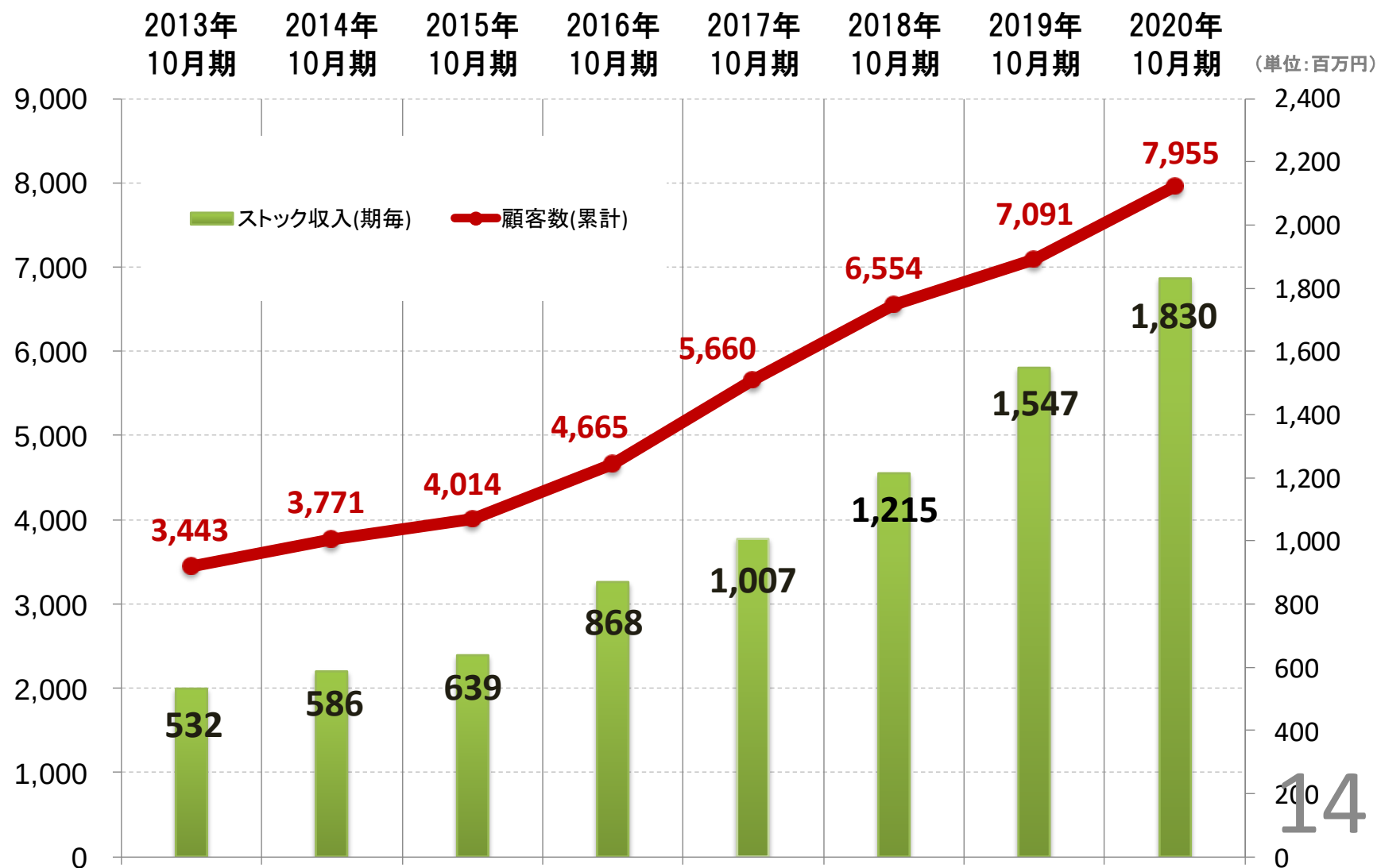
JASDAQ
3804



ソフトウェアの品質の向上とユーザーの増加がスパイラルに発展するシステムディの業種特化パッケージ



スtock (ランニング) 収益の伸張



■ 6つの事業部門

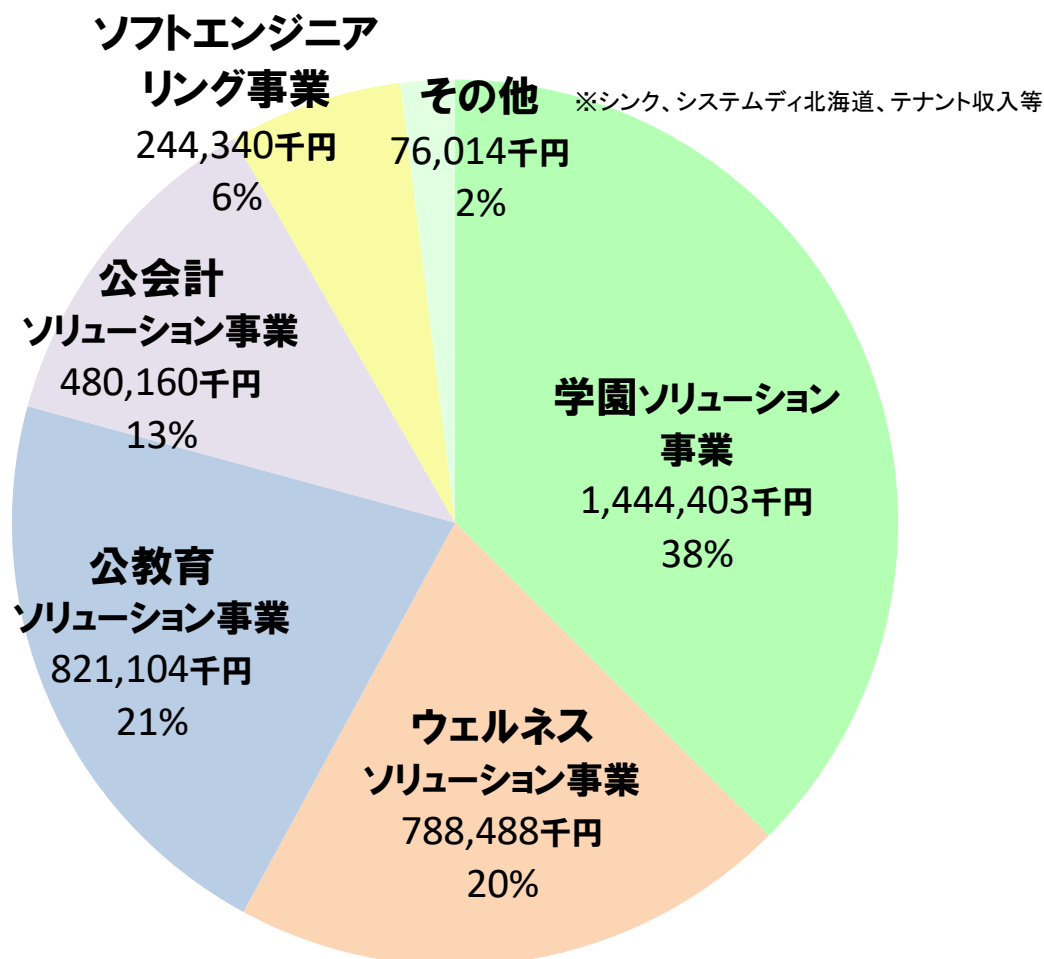
JASDAQ
3804



	主要製品・サービス	累計顧客数
学園 ソリューション	『キャンパスプラン.NET Framework Ver.10』 学園情報総合管理システム 『アンシンサイト』 保護者向けBtoBtoCサービス 『CampusPlan Smart』 次世代学園総合情報システム New	994
ウェルネス ソリューション	『Hello EX』 フィットネスクラブ・スポーツ施設向け会員管理システム 『すこやかHello』 公共体育施設運営支援システム 『Hello Fun』 アミューズメント施設向け運営管理システム 『Smart Hello』 次世代クラウド型会員管理システム New	1,178
ソフトエンジニア リング	『規程管理システム』『規程管理システム 金融機関版』 『契約書作成・管理システム』 『規程・マニュアル管理システム』	484
公教育 ソリューション	『School Engine』 クラウド型校務支援サービス 校務支援、学校用グループウェア、学校用メール連絡網 『Home Services』 児童生徒に関する成績・出欠・活動情報をリアルタイム に保護者へ提供 New	2,994
公会計 ソリューション	『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 地方公会計システム 『創生』 公会計活用システム 『PPP クラウド (Azure) 』 クラウド型地方公会計システム New	1,077
薬局 ソリューション (株式会社シンク)	『GOHL2』／『OKISS』 調剤薬局向けレセコン 『薬歴情報電子ファイル』 保険薬局向け薬歴情報システム 『GOHL PICKING』 医療品過誤防止システム	1,228

合計 7,955

39期 事業部別売上構成



売上総額 : 3,854,536 千円

■ 各事業部の取り組み - 1. 学園ソリューション事業

JASDAQ
3804



学園運営をトータルに支援する学園情報管理システム『キャンパスプラン』

- 学校業務の全てを網羅したパッケージシステムをラインアップ。
- 少子化対策の一環として、学生・生徒から、保護者、教職員に至るまで、徹底したサービスをクラウドにより提供。
- 大規模大学を獲得しつつ、中小規模学園の経営強化の支援となるサービスを提供し、さらなるシェアの拡大を目指す。



Campus Plan for .NET Framework / for Azure

The screenshot shows the '任用情報登録' (Employee Information Registration) screen. It includes fields for '対象日' (Target Date), '任用区分' (Appointment Category), '任用番号' (Appointment Number), and '教職員番号' (Staff Number). Below these are fields for '氏名(姓)' (Name (Surname)), '氏名(姓)' (Name (First Name)), and '氏名(姓)' (Name (Last Name)). A table lists staff members with columns for '氏名(姓)' (Name (Surname)), '氏名(姓)' (Name (First Name)), '氏名(姓)' (Name (Last Name)), '氏名(姓)' (Name (Last Name)), '氏名(姓)' (Name (Last Name)), and '氏名(姓)' (Name (Last Name)).

◆主な導入先

— 全国**994**の学園に導入 —

日本大学、帝京大学、中央大学、上智大学、近畿大学、東京都市大学、流通経済大学、日本女子大学、フェリス学院大学、桃山学院大学、京都文教大学、北星学園大学、埼玉医科大学、関西医科大学、聖路加国際大学、東京医科歯科大学、東京藝術大学、千葉大学、埼玉大学、滋賀医科大学、宮城大学、札幌医科大学、千葉県立保健医療大学、京都コンピュータ学院、文化服装学院、山野理容美容専門学校、富士調理技術専門学校、慶應義塾高校、國學院大學久我山高校、青森山田学園 等

Campus Plan
Smart

New

2019年11月 リリース ラインナップ拡充中

■ 各事業部の取り組み - 2. ウェルネスソリューション事業

JASDAQ
3804



スポーツ施設の運営支援システム『Hello EX』 & 文化・観光施設運営支援システム『Hello Fun』

- フィットネスクラブ、公共体育施設、スポーツジム、テニススクール等に『Hello EX』『Hello ASP』『すこやか Hello』を展開。
- 新製品 文化・観光施設の運営支援システム『Hello Fun』をリリース、引き合い多数。

スポーツ施設 運営支援

クラウド型 新システム



文化・観光施設 運営支援

アンチエイジングサービス



◆ 主な導入先

ー 全国**1,178**の施設に導入 ー

【民間スポーツ施設】メガロス（野村不動産ライフ&スポーツ株式会社）、コナミスポーツクラブ、東急スポーツオアシス、トータルワークアウト、アシックススポーツコンプレックス東京ベイ、ダンロップスポーツクラブ、Fit&GO（株式会社ファミリーマート）、溶岩ホットヨガスタジオアミダ、テニ斯拉ウンジ、他

【自治体・公共団体】有明スポーツセンター、尼崎市スポーツ振興事業団、京都テルサフィットネスクラブ、郡上市総合スポーツセンター、川崎市民プラザ、他

【民間企業】西武園ゆうえんち、庭の湯、明治神宮外苑アイススケート場、DMMかりゆし水族館、太閤園、他



各事業部の取り組み - 3. ソフトエンジニアリング事業

JASDAQ
3804



民間企業・公益法人・学校法人等の法令遵守、事業防衛、提携促進を支援

- 業務に特化したパッケージシステムを武器に、民間企業、公益法人、学校法人に対してソリューションを展開。
- 業種に特化したサービスの手始めに、金融機関向け規程管理システム・契約書作成・管理システムを開発、営業展開中。

規程管理システム / 契約書・作成管理システム

規程管理システム - Windows Internet Explorer

規程管理システム

経営会議規程 新旧対照表

改正案	現行
経営会議規程	経営会議規程
1993年4月1日制定	1993年4月1日制定
1996年4月1日改定	1996年4月1日改定
1997年4月1日改定	1997年4月1日改定
2010年1月1日改定	1997年10月1日改定
第1条 (規程の目的)	第1条 (規程の目的)
この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。	この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。
第2条 (経営会議の構成)	第2条 (経営会議の任務)
1. 経営会議は、取締役会長、取締役副会長、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。	経営会議は、取締役会の定める基本方針に基づいて業務の執行を行う取締役社長を補佐し、会社経営に関する全般的な事項を審議する。
2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。	第3条 (経営会議の構成)
3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。	1. 経営会議は、取締役会長、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。
第3条 (経営会議の開催)	2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。
経営会議は、原則として毎月1回、第3水曜午後4時より本社会議室に	3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。
	第4条 (経営会議の開催)
	経営会議は、原則として毎月1回、第2金曜午後2時より本社会議室に

企業・学園・公益法人のコンプライアンス・
コーポレートガバナンス支援製品で事業展開

『規程管理システム』『契約書作成・管理システム』
『規程・マニュアル管理システム』 etc.

◆ 主な導入先

— 484の民間企業・公益法人に導入 —

【学校法人】立教大学、東京農業大学、法政大学、大阪経済大学、高知県公立大学法人、京都産業大学、明治学院大学、上智学院等

【民間企業】TOHO CINEMAS、株式会社エイチ・アイ・エス、中外製薬、三井倉庫ホールディングス、フジモトHD株式会社、株式会社ユーシン精機、株式会社永谷園、はごろもフーズ株式会社、リンガーハット、北陸銀行、北海道銀行等

【社団法人・財団法人・公益法人・独立行政法人】社会医療法人財団 石心会、社会医療法人 生長会・社会福祉法人 悠人会、公益財団法人 日本サッカー協会、JETRO（日本貿易振興機構）等

■ 各事業部の取り組み - 4. 公教育ソリューション事業

JASDAQ
3804



国公立の小・中・高校向け校務支援システム『School Engine』

- 都道府県（公立高校）に対して圧倒的なシェアを確保し、デファクトスタンダードの地位を確立。
- 全国の市町村立の小・中学校（約30,000校）にクラウド展開。

スクール エンジン
School Engine

**新サービス『Home Services』
2021年4月リリース予定**

■ 校務支援 ■ 学校徴収金管理 ■ グループウェア ■ メール連絡網



成績一覧入力

2014 年度 クラス：6年1組

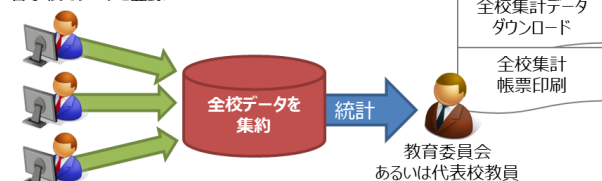
ファイル名 参照...

読み込み用フォーマット書き出し 登録データ書き出し 読み込み

戻る メインメニュー ログアウト

更新	校務 太郎077	校務 太郎079	校務 太郎081
	1学期	2学期	3学期
国語への関心・意欲・態度	A	A	A
話す・聞く能力	B	B	B
書く能力	B	B	B
読む能力	B	B	B
国語についての知識・理解・技能	A	A	A
書写	B	B	B
社会的事象への関心・意欲・態度	B	B	B
社会的な思考・判断・表現	A	A	A
読解・資料活用・技能	A	A	A
社会的事象についての知識・理解	A	A	A
読書への関心・意欲・態度	B	B	B
読書的な考え方	B	B	B
読書や国語についての技能	A	A	A
読書や国語についての知識・理解	A	A	A

各学校でデータを登録



第11号様式 調査書

立 科 高等学校 (コース・部・専攻)

志願先 高等学校

氏名 仙藤 七太 性別 男

入学年月 平成 23 年 4 月 ○○県△△市西大路中学校

学年 第 1 学年 (入学) 編入学

転入学年月 平成 年 月

卒業年月 平成 26 年 3 月 同 中学校 (卒業見込) 卒業

現住所 ○○県△△市 □□123番地

各教科の学習の記録

教科	観点別学習状況	2 年	3 年	学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
国語	国語への関心・意欲・態度	A		2 年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	話す・聞く能力	A				
	書く能力	B	4			
	読む能力	A				
社会	国語についての知識・理解・技能	A		3 年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	社会的な思考・判断・表現	A				
	読解・資料活用・技能	B	4			
	社会的事象についての知識・理解	A				
数学	数学への関心・意欲・態度	A		総所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録	運動部、文化部、学級委員、学級委員、生徒会 (生徒会副会長)、生徒会 (生徒会副会長)、体育委員会、学校委員会、体育委員会、体育委員会、文化活動発表会実行委員会、バスケ部、バスケ部 (男子)
	数学的な考え方	B	4			
	数学的な技能	A				
	数量や図形などについての知識・理解	A				
理科	理科への関心・意欲・態度	B		4 年		
	科学的思考・表現	A				
	読解・資料活用・技能	A				
	社会的事象についての知識・理解	B				
音楽	音楽への関心・意欲・態度	A		3 年		
	音楽表現の創造工夫	A				
	音楽鑑賞の技能	B				
	音楽表現の技能	B				

19県4政令市をはじめとする2,994校に導入

和歌山県、静岡県、兵庫県、広島県、岩手県、香川県、宮崎県、埼玉県、山梨県、石川県、高知県、滋賀県、千葉県、愛媛県、三重県、山形県、奈良県、大分県、福岡県
(政令市) 京都市、堺市、札幌市、熊本市
(中核市) 久留米市、倉敷市、甲府市

■ 各事業部の取り組み - 5. 公会計ソリューション事業

JASDAQ
3804



自治体向け地方公会計システム『PPP(トリプル・ピー)』 & 公会計活用システム『創生』

- 『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 競合他社に先駆けて完成。
- 2018年6月には、活用の視点から地方創生を支援する、公会計活用システム『創生』をリリース。
- 1,788自治体、1,544関連公共団体を対象。

PPPクラウド も好評、拡販中



自治体会計(現金主義・単式簿記会計)を**発生主義・複式簿記**に基づいて、**公会計財務諸表と固定資産台帳**を作成。**会計制度の新統一基準に完全対応。**

The screenshot displays the PPP system interface, which is divided into several sections for managing public accounting data.

Fixed Asset Register (Fixed Assets Detail):

- Asset No. / Branch: 88 / 0
- Asset Name: 88 / 0
- Facility: 公会計第五小学校
- Region: 公会計町2
- Location: 所在地

Summary Table:

取得価額	所有割合
1,281,000	100%

Accounting Data:

期首簿価	減価償却累計	当期取得額	当期減価償却	期末簿価
552,400	896,700	0	128,100	384,300

Transaction Log:

財産取得	原簿No	異動年度	異動日	異動事由
0	1	平成25年度	2014/03/31	当初取得
0	2	平成25年度	2014/03/31	一括償却
0	3	平成26年度	2014/10/01	評価替え(減)
0	4	平成26年度	2015/03/31	減価償却累計(評)

Map View:

The map view shows the location of the asset on a street map. The address is 545UE83694920. The map includes labels for nearby streets and landmarks.

13府県5政令市7特別区を含む全国の自治体、関連公共団体、会計事務所等、1,077団体に導入

秋田県、山形県、福島県、茨城県、新潟県、静岡県、京都府、奈良県、鳥取県、島根県、広島県、宮崎県、沖縄県

千葉市、川崎市、岐阜市、静岡市、浜松市、津市、奈良市、和歌山市、岡山市、山口市、高松市、佐賀市、宮崎市

台東区、墨田区、品川区、目黒区、中野区、杉並区、板橋区

保険薬局レセコン・POSレジシステムなど多彩なシステムで保険薬局業務を支援

- 『薬歴情報電子ファイル』及び、新商材・医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』による既存ユーザの深耕と、新規ユーザの獲得に向け全国展開。

New

■ 医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』

レセコンで入力された処方せんデータをもとに、調剤棚よりピッキングした医薬品のバーコードを照合して、医薬品のピッキングミスを防止するシステム

No	患者名	医薬品名称	総数量	単位	備考
2	シンク 花子	メトグルコ錠250mg	294	錠	
1	シンク 太郎	エグア錠50mg	98	錠	
		アダラートGR錠20mg	49	錠	
		クレストールOD錠2.5mg	49	錠	
		ディオバン錠80mg	49	錠	
		ルセフィ錠2.5mg	49	錠	
		ライゾデグ配合注フレックスタッチ	7	キット	
		ロキソニンテープ50mg	10	枚	



■ 薬局向けレセコン『GOHL2』／『OKISS』

「簡単な操作性」と「安価に導入いただけるシステム」をテーマに開発したレセコンシステム



■ 保険薬局向け薬歴情報システム『薬歴情報電子ファイル』

わかりやすく簡単に使える、電子薬歴ガイドラインの基準を満たした電子薬歴システム

2021年10月期の計画

※2021年10月期は、不確実な環境の中にあって、中長期的な戦略の実現可能性を高めるため、ストック収益をより強固にし、「**強靱なシステムディ**」の事業基盤を構築する。

- 新規パッケージシステムのリリース、拡販等により、さらなるシェアの拡大をはかる。（累計10,000ユーザ）
- その結果、サポート契約・クラウド契約を積み重ね、より強固なストック基盤を構築する。（ストック比率50%）
- ストックビジネスを維持・拡大して、高効率なビジネスを展開する。（売上高営業利益率20%）
- 景気変動にも自然災害にもウィルスにも負けずに、安定的な成長を継続する。（営業利益 年率10%成長）

（単位：百万円）

	2020年10月期 (39期) 実績	2021年10月期（40期）計画		
		計画値	前年度増減	前年同期比
売上高	3,854	4,085	231	106%
営業利益	727	773	46	106%
営業利益率	18.9%	18.9%	-	-
経常利益	729	773	44	106%
純利益	510	532	22	104%

■ 収益認識基準の早期適用について（１）

JASDAQ
3804

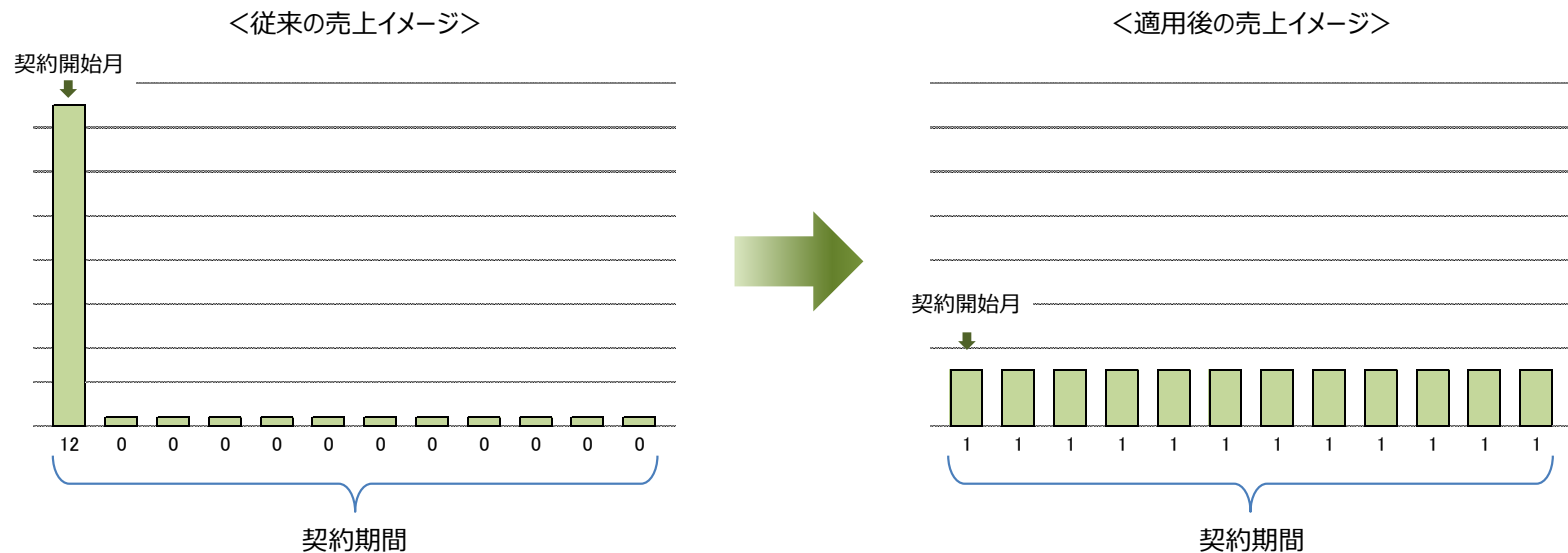


- 従来当社は一部の年間サポート契約等について、契約月に1年分の契約金額を一括計上しておりましたが、**収益認識基準を早期適用**するにあたり、契約金額を契約期間で均等按分して計上することにいたしました。

これにより、契約開始月が4月に集中していた年間サポート契約等が、4月の一括計上から12ヶ月に按分計上されることになり、当社第2四半期に集中していた売上・利益が年間を通して平準化されることになりました。

（既存サポート契約等に関して、上半期売上の約216百万円が、均等按分の結果下半期の売上となります。（通期では大きな増減なし））

収益認識基準適用の影響（イメージ）



■ 収益認識基準の早期適用について（２）

JASDAQ
3804



■ 収益認識基準を適用することにより、契約開始月に一括計上していた年間サポート契約等は年間を通じて各月に平準化して売上計上します。その結果、当社特有の業績季節変動（2Qと4Qに売上・利益が集中）が緩和されることになります。

■ その結果、40期の予算は、上期・下期のバランスが例年とは違い、上期に偏重しがちであった業績が下期に分散されることになります。（既存の年間サポート契約等売上だけで、約216mが下期の売上となります。）

■ また、40期前半はまだコロナ禍の影響を比較的大きく見込んでおく必要があり、好調であった39期上期実績（当初利益予算より約205m多い、569mを計上）と比較して、40期上期予算は約△236mの333mの見通しを立てています。

< 39期の予算と実績との比較 >

（単位：百万円）

（経常利益）	上期	下期	通期
39期予算	364	242	606
39期実績	569	160	729
差額	205	△ 82	123

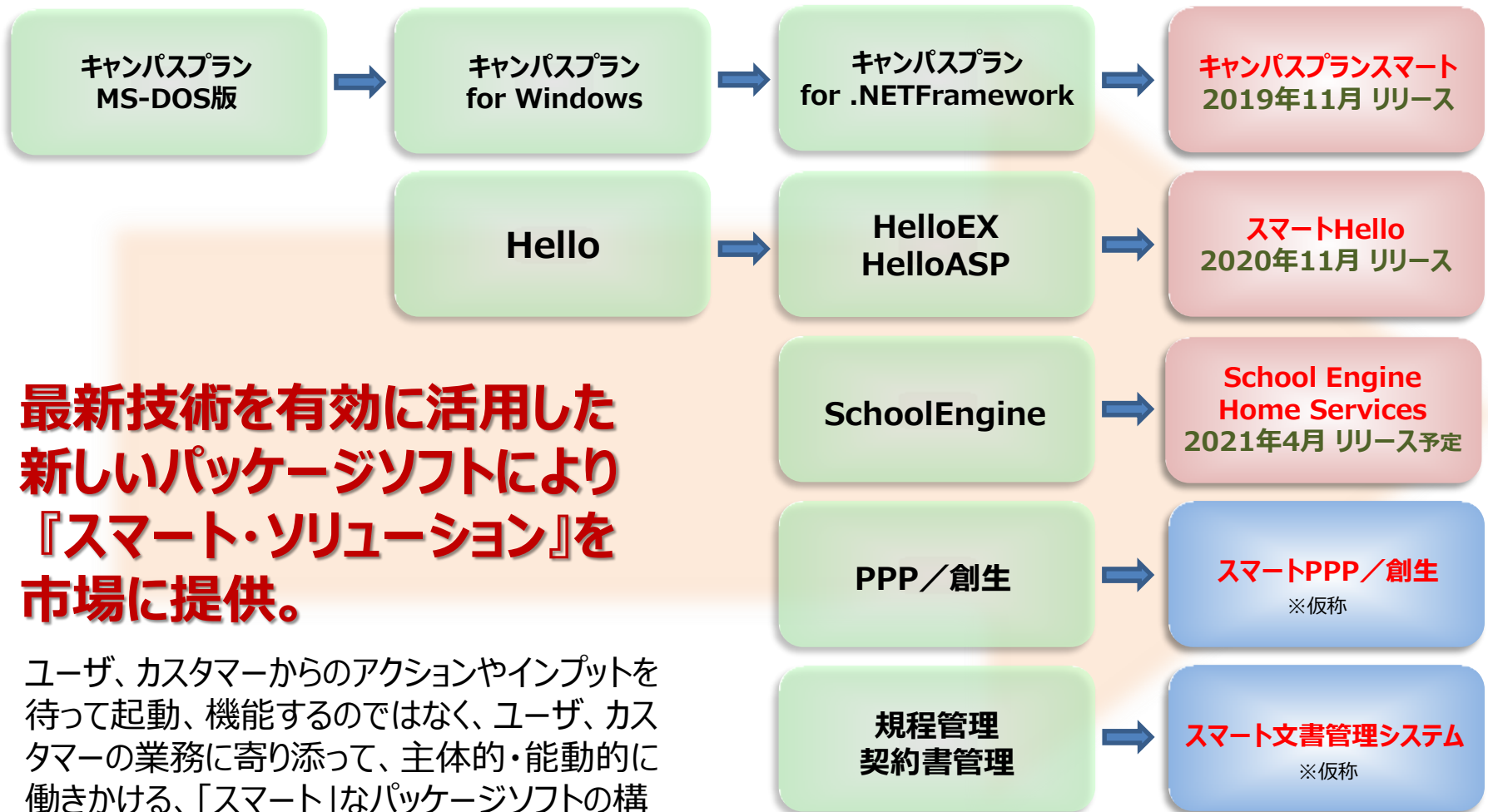
< 39期の実績と40期の予算との比較 >

（単位：百万円）

（経常利益）	上期	下期	通期
39期実績	569	160	729
40期予算	333	439	773
差額	△ 236	279	44

- 売上高営業利益率：20%を目指す。 **通期では届かず**
- ストック収益の割合：50%を目指す。 **現在47.5%、上方修正**
- 自己資本比率：60%以上をキープ。 **既に到達、さらに向上**
- 累計顧客数：10,000件（事業所）を目指す。 **まだまだ**
- 入社3年後の社員定着率：90%超をキープ。 **常にキープ**

パッケージソフトの進化



**最新技術を有効に活用した
新しいパッケージソフトにより
『スマート・ソリューション』を
市場に提供。**

ユーザ、カスタマーからのアクションやインプットを待って起動、機能するのではなく、ユーザ、カスタマーの業務に寄り添って、主体的・能動的に働きかける、「スマート」なパッケージソフトの構築を目指す。

■ 全てのソリューションにおいてクラウドサービスを展開

JASDAQ
3804



キャンパスプランスマート
2019年11月 リリース

スマートHello
2020年11月 リリース

School Engine Home Services
2021年4月 リリース予定

クラウドサービス とは …

お客様はネット経由でシステムを利用するだけ！
サーバ等の設備・保守、セキュリティ対策はクラウドサービス側にお任せください。
月額利用料のランニングコストだけで、イニシャルコストを節約。



Microsoftの
クラウド基盤を活用

『キャンパスプラン for Azure』

公会計クラウドシステム
『PPPクラウド(Azure)』

会員・運営管理システム『Hello ASP』
アンチエイジングサービス『Weldy Cloud』

公立小中高校向け校務支援サービス
『School Engine』

『規程管理システム
クラウド・サービス』

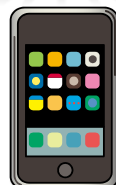
データセンターのクラウド環境で
顧客のデータの安全性を保証！

学園

企業・団体
総務部門

公立
小中高校

スポーツ
施設



新たな地域創生ソリューションへの飛躍



景気変動にも、自然災害にも、ウィルスにも負けない 強靱な事業体を築く

売上高営業利益率 **20%**

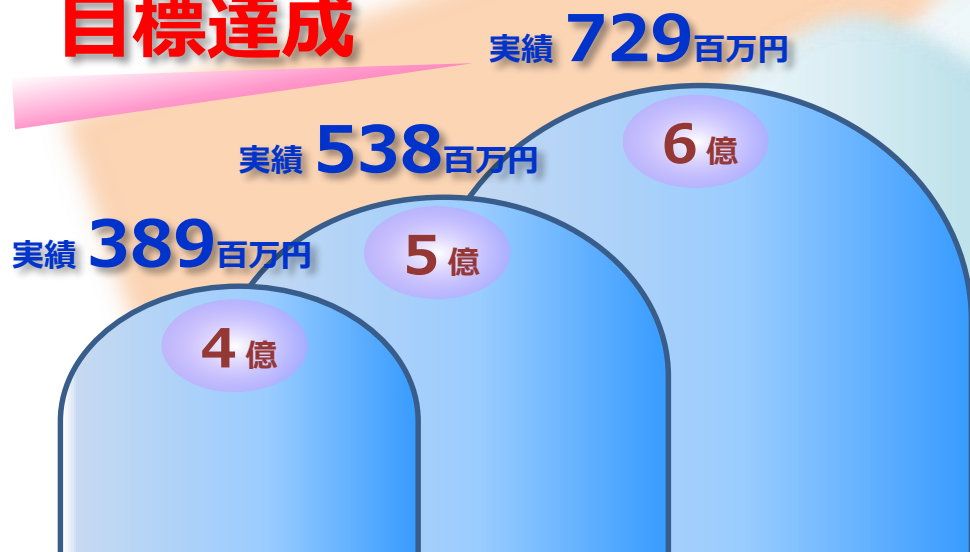
ストック収益 **50%**

→ 前年比 **10%** アップの成長軌道へ

営業利益

10億円企業へ

目標達成



2018年10月期 2019年10月期 2020年10月期

次世代パッケージソフトのリリース・拡販

新規事業・海外展開

地域創生・公共ビジネス

働きがい改革・生きがい改革

累計**10,000**ユーザ目指して

本日はお忙しい中、
ご参加頂きましてありがとうございました。
今後ともシステムディを宜しくお願い致します。



株式会社 システムディ
代表取締役会長 堂山 道生
代表取締役社長 藤田 雅己